作大・作短広報新聞
燦
KIRARI

12月 1日

発　行
作新学院大学
作新学院大学女子短期大学部
〒321-3295 栃木県宇都宮市竹下町908
電　話 028-667-7111
ＦＡＸ028-667-7110

編集兼発行人 橋立 達夫
編　集
作新PRIDEプロジェクトチーム

お電話相談窓口はこちら
大学・短大 TEL028-670-

総務課（総務関係・施設貸出）	3600
会計課（学納金・経費支払等）	3621
施設課（建物・施設管理）	3631
入試・広報課（受験相談・資料請求）	3655
教務課（定期試験・各種証明書発行）	3642
学生課（奨学金・学生生活相談）	3641
キャリア・就職支援課（求人依頼・就職についての相談）	3645
図書課（図書等の所蔵・貸し出し）	3652
学修支援室（学内ネットワーク・情報機器の管理）	3616
地域連携支援センター（大学付属研究所）	3614

HEADLINE

副学長・大学院経営学研究科長コラム・・・

第27回宇都宮マラソン大会

秋晴れの下、6748人快走！

大学・短大

11月17日(日)秋晴れの下、第27回宇都宮マラソン大会が清原中央公園の周辺コースで開催され、県内外から6748人がエントリーし、それぞれのクラスで完走を目指し楽しみながら走っていました。

本学は、毎年会場にブースを設け来場された方々にパンフレット等を配布するなど大学の紹介をしております。

また、大会運営のスタッフとして約40名の学生がボランティアとして参加し、給水所では短大生が中心となってスポーツドリンクの提供や「頑張って」の熱い声援でランナーを応援していました。

今回の大会では、本学の教職員と学生あわせ数十名がランナーとして参加し、それぞれのクラスで実力を発揮しました。

なかでも、5km男子39歳以下のクラスで、経営学部2年の佐藤哲也さん（写真左）が、おしくもトップと3秒差で2位。同じく、経営学部2年の田中雄也さん（写真右）が5位に入賞しました！

来年度から、本学経営学部にスポーツマネジメント学科が開設されます。学生がスポーツをとおして地域貢献を実践していく意味においても、県内最大である宇都宮マラソン大会を今後も支援してまいります。

横浜都市デザイン見学会

経営

横浜市街にて今年も恒例の作新学院大学まちづくり研究会の横浜都市デザイン見学会が行われました。今回で、もう13回目になります。

横浜市の企画調整局長・技監として、日本で初めてアーバンデザインの考え方を行政に採り入れて、市民の財産としての景観を守り創造した故・田村明先生のご遺徳を偲び、また『歩いて楽しい街』を実感するツアーです。

田村先生は私のまちづくりの師匠であり、平成12年の地域発展学部発足の際に記念講演をお願いした経緯があります。また、まちづくり研究会の発足も喜んでいただきました。以来、毎年横浜見学会を行っています。

今年は、11月16日に行われ、快晴の空の下、17名の学生が参加し、4時間余りの横浜街歩きを楽しみました。

街角の随所に施されたデザインの工夫を実際に見ながら、そのデザインの『裏』に並々ならぬ苦労があったことを説明しました。

学生たちは、横浜の街を半日歩いても見尽くせないほどの『資源』と、それが生み出された『ドラマ』を知り、「さて宇都宮は？」と考える時間となりました。

（橋立）

清原キャンパスアート

シリーズ⑤「秋の風景」

平成元年に開学し、平成12年には学部増と短大移転に伴い10万㎡の広大なキャンパスとなりました。キャンパス内には、ケヤキやマロニエ、コブシなど多くの木々が25年の歳月を経て大きく成長し、建物とマッチングし、思わず絵筆を取ってしまいそうな風景を醸し出しています。

特に秋深くなると木々が赤や黄に色づき、キャンパス内に彩りを添えています。まるでフレームに収められた絵画のように鮮やかな彩りに満ちた紅葉や落ち葉の絨毯は、見ている人を飽きさせません。

建物の間に堂々と立っている色づいた木々の下を、授業に向かう学生の姿も、キャンパスを彩っているのではないでしょうか。

イベントスケジュール

12月

- 7日　サタデーキャンパス（要予約）
- 14日　大学　推薦入試Ⅱ期／特別選抜入試Ⅰ期／AO入試・吹奏楽AO入試第2回　短大　推薦入試（自己推薦）
- 19日　短大　クリスマス会

2014 1月

- 7日　短大　短大2年生を送る会

2014 2月

- 19-18日　大学入試センター試験
- 2日　大学　一般入試第1回　短大　一般入試
- 21日　大学　一般入試第2回／特別選抜入試Ⅱ期
- 25-24日　短大　赤十字幼児安全法講習会

編集後記

暦の上では6日が「大雪（たいせつ）」。「いよいよ雪が降り積もり、熊は冬眠に入る季節」だそうです。心の暖房材として、燦（KIRARI）第5号をお届けします。

今月は、学生たちが企画から実施まで奮闘した大学祭特集のような紙面になりました。日頃のゼミ活動やサークル活動の成果発表、経営の実践練習としての模擬店運営、お笑いライブ、NHK宇都宮放送局との連携によるトークショー、短大生による小さな子どもたち向けのアンパンマンショーやミニ遊園地の開設など、文字通り大人から子どもまで楽しむことのできるイベントとして、地域の方々にも親しまれています。また卒業生にとっても年に一回の旧交を温める日になっています。

師走に入ると、まだ後期の授業は半分近く残っているのに大学はせわしなくなります。冬休みを挟んで1月下旬の期末試験で後期の授業がほぼ終わり、2月からは入試の時期に入ります。文字通り教職員が走り回る季節です。そんな訳で、恐縮ですが次号は2月の刊行とさせていただきます。